

2014「神戸の集い」私の感想

2014 年 2 月 10 日

氏名(会員番号)	早川雅子 (138)	参加回数	1 回目
参加した場所 (番号に○印)	1. 被災の記憶を巡る(東公園-防災公園-港の遺構) 2. 神戸市役所・防災展示室(河嶋さんの解説) 3. 松山さん・今石さんとの懇親会 4. 1.17慰霊式典 5. 人と防災未来センター 6. その他		
印象に残ったこと	1. 市役所からの景観からは想像すらできない程 19 年の歳月を感じましたが、東公園での明日への準備と、残された物から恐怖感を覚えました。 防災公園では市民が協力しただけあり、広いスペースの中に、いざという時の備えが満載、特に防災トイレには感激しました！ 港の前に道路に置かれた崩れた残骸と港の無残な爪あとには、自然のエネルギーに言葉を無くしました。 2. 河嶋様(神戸市職員)の説明はとても解かり易く身近で参考になりました。防塵マスクの備え！ 非常電源が 40 秒で作動するとか、隣りの部屋では瞬時に報道機関等へ情報がだせる対応にも目からうろこでした！ 3. 今までになく真面目な誕生日を迎えました。 懇親会の食事は美味しく貴重なひとときでした！ 4. 体験する事の大切さを痛感した。 穏やかな朝が余計に震災記念 19 年を忘れない心を刻んだ。 癒しえぬ思いを受け止めました。 東北の震災を体験した学生達の話が心に強く迫ってきました。 1・17、3・11は雪だるまの前でした！ 5. 硝子張りの建物内には子どもたちのポスター掲載や海拔表示に唖然としました。 語り部の方々の体験された声は悲痛な叫びで、報道されない事が沢山あり、伝えることの大切さを改めて感じました。 呼んで下されば何処でも行きますと言われました。 兵庫県の慰霊式が行われ、歌声と誓いが響いていました。 6. 始めに淡路の断層見学へ！ 小学生の説明を聞く態度に感動しました。 見学者の中に宮城の高校生で震災の時、車で津波に吞まれるも奇跡的に助かったそうです。 台所のめちゃくちゃに驚き！ 語り部のおばちゃまは、家の下敷きで、消防の方に助けられたと言われて感謝していました。 7. 17 日、巨大な絵画 2 点と東北震災前・後・現在のフォトが問いかけていました。 市役所 2 階の子ども達向けコーナーでは震災を知らない世代へのメッセージが溢れていました。		
今回参加した感想	現地に足を運び体験することの大切さを実感しました。 神戸市民の 4 割が震災を知らない方々になったとか！ 残された方々が伝えられている事が素晴らしいかった。 防災ホイッスルと減災グッズを備えよう！ 地域へ帰ってから、A4 サイズにして 200 名の小学生に 1 月 23 日に配り家族と話していただく事にしました。 始めの一步です。 都筑区子ども展で防災カレンダーを消防署で作成していただきました。		